



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場取引所 名

上場会社名 三重交通グループホールディングス株式会社
コード番号 3232 URL <http://holdings.sanco.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岡本 直之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総務人事グループ統括 (氏名) 川村 則之

TEL 059-213-0351

四半期報告書提出予定日 平成23年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	46,489	△3.4	1,737	20.9	1,418	33.4	760	135.4
23年3月期第2四半期	48,124	△5.4	1,437	△31.2	1,062	△34.0	323	△68.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 660百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △175百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	8.64	—
23年3月期第2四半期	3.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	146,997	20,828	13.8
23年3月期	146,385	20,440	13.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 20,331百万円 23年3月期 19,958百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,000	△1.9	4,200	16.8	3,000	13.4	1,400	△5.8	15.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	107,301,583 株	23年3月期	107,301,583 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	19,260,075 株	23年3月期	19,259,109 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	88,041,949 株	23年3月期2Q	88,049,118 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあったものの、企業や家計の節電努力により、懸念された夏場の電力供給不足が経済活動への大きな制約となることが避けられ、生産や輸出、個人消費などに持ち直しの動きが見られました。

このような状況の中、当社グループにおいては、運輸業やレジャー・サービス業において、出控え傾向が続くなどのマイナス要因はあったものの、不動産業や生活用品販売業において前年より利益が増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益は46,489百万円（前年同四半期比1,634百万円、3.4%減）となり、営業利益は1,737百万円（前年同四半期比300百万円、20.9%増）、経常利益は1,418百万円（前年同四半期比355百万円、33.4%増）、四半期純利益は760百万円（前年同四半期比437百万円、135.4%増）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

(運輸業)

乗合バス部門では、三重交通㈱の夜行高速バス「鳥羽大宮線」において新たに横浜・新宿等への乗り入れを開始するとともに、バスカードの販売を強化するなど、バスの利用促進をはかりました。貸切バス部門及びタクシー部門では、震災により需要が減少し稼働率が低下しました。一方、貨物自動車輸送部門では、宅配便輸送の受託が増加しました。

この結果、運輸業セグメントの営業収益は12,450百万円（前年同四半期比287百万円、2.3%減）となり、営業利益は378百万円（前年同四半期比8百万円、2.3%増）となりました。

(不動産業)

分譲部門では、積極的に販売活動を展開しましたが、マンションの供給戸数の減少により売上高が減少しました。仲介部門では、名古屋地区、三重県内ともに取扱件数が増加しました。賃貸部門では、4月に津駅前において新たなオフィスビル「津三交ビルディング」がオープンしました。建築部門では、省エネルギーと耐震性に優れた外断熱住宅「ネオウッドS」の発売を開始しました。

この結果、不動産業セグメントの営業収益は17,350百万円（前年同四半期比929百万円、5.1%減）となり、営業利益は1,449百万円（前年同四半期比429百万円、42.0%増）となりました。

(石油製品販売業)

石油製品販売業では、消費者の節約志向や低燃費車の普及により販売数量は減少したものの、販売単価の上昇により売上高は増加しましたが、他店との価格競争により利益率は低下しました。

この結果、石油製品販売業セグメントの売上高は7,995百万円（前年同四半期比131百万円、1.7%増）となり、28百万円の営業損失（前年同四半期営業利益3百万円）となりました。

(生活用品販売業)

東急ハンズ2店舗では、防災や節電関連のニーズを的確に把握し、売上向上に努めました。また、恒例の感謝バーゲン「ハンズメッセ」向け商品の品揃えを充実させ、集客をはかりました。

この結果、生活用品販売業セグメントの売上高は6,259百万円（前年同四半期比174百万円、2.9%増）となり、営業利益は118百万円（前年同四半期比109百万円増）となりました。

(レジャー・サービス業)

旅行部門及びホテル部門では、震災の影響により4月～5月において予約キャンセルが発生し、旅行者及び宿泊者が減少しました。ドライブイン部門では、震災の影響に加え、前年同時期のイベント（平城遷都1300年祭）の反動もあり、バスの立寄り台数が減少しました。索道部門では、春先の出控え傾向に加え、台風による運休もあり、乗車人員が減少しました。

この結果、レジャー・サービス業セグメントの営業収益は4,474百万円（前年同四半期比663百万円、12.9%減）となり、174百万円の営業損失（前年同四半期営業利益36百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末（平成23年9月30日現在）における財政状態は、総資産は賃貸事業用土地・建物の新規取得等により146,997百万円（前連結会計年度末比612百万円増）となりました。また、負債は短期借入金の増加等により126,168百万円（前連結会計年度末比223百万円増）となりました。一方、純資産は利益剰余金の増加等により20,828百万円（前連結会計年度末比388百万円増）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少等により、1,555百万円の収入（前年同四半期比2,100百万円収入増）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得等により、4,272百万円の支出（前年同四半期比903百万円支出増）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加等により、1,548百万円の収入（前年同四半期比1,364百万円収入減）となり、この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は3,674百万円（前連結会計年度末比1,168百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

欧州債務問題が世界経済に暗い影を落とすなか、円高の長期化による輸出の減速など、日本経済の先行きには不透明感が増しています。

こうした状況下、当社グループは、各セグメントにおいて引き続き収益確保と経費節減に努め、通期の連結業績予想につきましては、売上高106,000百万円、営業利益4,200百万円、経常利益3,000百万円、当期純利益1,400百万円となる見通しであります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,890,711	3,717,853
受取手形及び売掛金	4,854,445	5,008,761
商品及び製品	1,235,507	1,326,418
販売用不動産	41,812,579	41,615,614
仕掛品	492,300	742,950
原材料及び貯蔵品	223,282	236,316
その他	3,601,700	3,301,553
貸倒引当金	△40,251	△35,894
流動資産合計	57,070,276	55,913,573
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,092,772	30,271,572
土地	39,928,060	41,785,651
その他(純額)	6,223,121	5,410,868
有形固定資産合計	75,243,954	77,468,092
無形固定資産		
のれん	18,482	9,296
その他	562,372	528,492
無形固定資産合計	580,854	537,788
投資その他の資産		
その他	13,564,023	13,151,336
貸倒引当金	△74,029	△73,571
投資その他の資産合計	13,489,993	13,077,765
固定資産合計	89,314,803	91,083,646
資産合計	146,385,079	146,997,220
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,578,887	2,631,299
短期借入金	22,425,000	27,165,000
1年内返済予定の長期借入金	13,575,062	22,941,941
未払法人税等	396,168	651,440
引当金	1,922,898	1,969,266
その他	9,736,663	9,418,118
流動負債合計	52,634,680	64,777,066
固定負債		
長期借入金	50,430,994	38,163,130
退職給付引当金	1,526,673	1,576,607
引当金	60,531	60,531
資産除去債務	67,429	68,153
負ののれん	193,087	113,125
長期預り保証金	15,536,314	15,911,846
その他	5,494,865	5,497,819
固定負債合計	73,309,895	61,391,212
負債合計	125,944,575	126,168,278

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	8,216,911	8,216,948
利益剰余金	8,206,538	8,700,774
自己株式	△2,468,136	△2,468,392
株主資本合計	16,955,314	17,449,330
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,261,679	2,284,115
繰延ヘッジ損益	64,436	△78,897
土地再評価差額金	676,932	676,932
その他の包括利益累計額合計	3,003,048	2,882,150
少数株主持分	482,141	497,460
純資産合計	20,440,503	20,828,941
負債純資産合計	146,385,079	146,997,220

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業収益	48,124,130	46,489,197
営業費用		
運輸業等営業費及び売上原価	37,140,982	35,605,100
販売費及び一般管理費	9,546,126	9,146,311
営業費用合計	46,687,108	44,751,411
営業利益	1,437,022	1,737,786
営業外収益		
受取配当金	155,546	155,724
負ののれん償却額	70,851	70,776
その他	152,189	108,333
営業外収益合計	378,587	334,834
営業外費用		
支払利息	731,163	636,024
その他	21,618	18,541
営業外費用合計	752,782	654,566
経常利益	1,062,826	1,418,054
特別利益		
固定資産売却益	4,316	8,578
投資有価証券売却益	0	11,485
その他	101,051	1,426
特別利益合計	105,367	21,490
特別損失		
固定資産処分損	114,360	37,207
投資有価証券評価損	400,245	55,737
その他	54,422	37,854
特別損失合計	569,028	130,799
税金等調整前四半期純利益	599,166	1,308,744
法人税等	272,450	527,684
少数株主損益調整前四半期純利益	326,715	781,060
少数株主利益	3,480	20,174
四半期純利益	323,235	760,885

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	326,715	781,060
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△443,171	26,709
繰延ヘッジ損益	△59,253	△143,334
持分法適用会社に対する持分相当額	△285	△4,273
その他の包括利益合計	△502,709	△120,898
四半期包括利益	△175,994	660,162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△179,474	639,987
少数株主に係る四半期包括利益	3,480	20,174

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	599,166	1,308,744
減価償却費	2,319,459	2,228,060
投資有価証券評価損益(△は益)	400,245	55,737
退職給付引当金の増減額(△は減少)	52,841	49,934
受取利息及び受取配当金	△158,935	△161,533
支払利息	731,163	636,024
売上債権の増減額(△は増加)	921,792	943,330
たな卸資産の増減額(△は増加)	743,830	△89,405
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,115,364	△1,850,611
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,164,111	△1,295,384
その他	78,771	324,423
小計	408,858	2,149,320
利息及び配当金の受取額	157,771	160,239
利息の支払額	△693,711	△610,154
法人税等の支払額	△418,518	△144,279
営業活動によるキャッシュ・フロー	△545,599	1,555,125
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△62,600	△12,600
定期預金の払戻による収入	15,600	16,556
固定資産の取得による支出	△2,285,574	△4,706,793
固定資産の売却による収入	51,277	13,235
投資有価証券の取得による支出	△34,094	△6,045
投資有価証券の売却による収入	0	22,031
投融資による支出	△57,493	△24,951
投融資の回収による収入	54,828	80,068
預り保証金の受入による収入	218,799	675,684
預り保証金の返還による支出	△1,271,785	△327,652
その他	2,099	△2,370
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,368,943	△4,272,837
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	6,436,000	4,740,000
長期借入れによる収入	5,307,500	3,025,000
長期借入金の返済による支出	△8,542,558	△5,925,985
自己株式の売却による収入	—	60
自己株式の取得による支出	△695	△280
配当金の支払額	△266,674	△266,649
少数株主への配当金の支払額	△4,619	△4,855
その他	△15,551	△18,481
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,913,401	1,548,809
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,001,140	△1,168,902
現金及び現金同等物の期首残高	5,325,711	4,843,240
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	10,000	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,334,570	3,674,338

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結損益計算 書計上額 (注)2
	運輸業	不動産業	石油製品 販売業	生活用品 販売業	レジャー・ サービス業	計		
売上高								
外部顧客への売上 高	11,932,510	18,080,254	7,152,577	6,085,755	4,873,032	48,124,130	—	48,124,130
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	806,027	200,246	711,962	—	265,093	1,983,330	△1,983,330	—
計	12,738,538	18,280,501	7,864,540	6,085,755	5,138,125	50,107,461	△1,983,330	48,124,130
セグメント利益	370,317	1,020,874	3,341	8,805	36,011	1,439,350	△2,328	1,437,022

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,328千円には、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整額他が含まれている。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結損益計算 書計上額 (注)2
	運輸業	不動産業	石油製品 販売業	生活用品 販売業	レジャー・ サービス業	計		
売上高								
外部顧客への売上 高	11,655,702	17,144,070	7,188,896	6,259,822	4,240,706	46,489,197	—	46,489,197
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	794,881	206,920	807,087	—	234,083	2,042,973	△2,042,973	—
計	12,450,583	17,350,990	7,995,984	6,259,822	4,474,790	48,532,170	△2,042,973	46,489,197
セグメント利益又 は損失(△)	378,680	1,449,975	△28,070	118,573	△174,580	1,744,579	△6,793	1,737,786

(注) 1 セグメント利益の調整額△6,793千円には、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整額他が含まれている。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。